

労働災害再発防止対策書

【記入例4 建設業】

※ 3. 再発防止対策、5. 労働災害防止対策の水平展開については、改善前、改善後の状況がわかるように適宜写真を添付してください。

事業場	名称	○×△建設(有)	業種	内装工事業
	所在地	〇〇市△△1-2-3	労働者数	8名

被災者	氏名	◆◆◆◆	性別	男—女
	年齢	35才	休業(見込)日数	3ヶ月 日
	傷病の部分	頭部 例：(右手の親指)	勤続年数	1ヶ月 年
	傷病の性質	脳挫傷 (例：骨折)	経験年数	1ヶ月 年

1. 災害発生状況

いつ	どこで	だれが	どんな作業をしていたときに	どのように災害が発生したか
令和2年6月10日 午前 10時00分 午後	●●マンション新築工事	内装工の◆◆◆◆	桟組足場に設置したウインチを使用し、 バケツに入れた材料を桟組足場の4段目の 作業床上で荷揚げ作業中	バケツを引き込もうとした際に筋交いを取り外した桟組足場から 墜落したもの

2. 災害発生原因 (災害の原因を調査してください)

2. 1 労働災害が発生した作業及び作業環境 (発生原因となっていないか調査してください)

作業内容及び作業環境	墜落防止措置に不備のある足場上で、墜落制止用器具を使用させずに作業を行わせた
------------	--

2. 2 機械・設備に関すること (危険な状態がなかったか調査してください)

物自体の欠陥(強度不足、粗悪、老朽化等)	
防護措置の欠陥(カバーなし、手すりなし等)	桟組足場の筋交いを取り外された場所で作業を行った
作業場所の欠陥(乱雑、狭い、滑り易い等)	
作業環境の欠陥(照明不足、換気不足等)	
保護具・服装の欠陥	
その他	

再発防止対策を検討する際には、
「作業自体の見直し」→「機械設備の改善」→「作業方法の改善」→
「安全衛生管理の改善」の順に検討し本質的な安全化を図ってください。

2. 3 人に関すること (作業のやり方に不適切な点はないか調査してください)

安全装置の不使用	
カバー、手すり等の取り外し	桟組足場の筋交いを取り外した
決められた機械・工具を使わなかった	
保護具・服装の誤り	墜落制止用器具の使用をしていなかった
決められた手順を行わなかった	
危険な箇所に行った・手を入れた	
機械運転中に掃除・修理・点検をした	桟組足場の筋交いを取り外された場所で作業を行った
その他	

2. 4 安全衛生管理 (機械設備が危険、作業員が危険行動を行った原因を管理面から点検してください)

機械・設備導入時に安全な機械設備が検討しなかった	
日頃、機械設備を点検していなかった	
安全(衛生)担当者を決めていなかった	
安全(衛生)担当者が職務を行っていなかった	
安全な作業のやり方を決めていなかった	安全な作業方法を定めていなかった
作業員に作業の方法の教育を行っていなかった	安全教育を実施していなかった
日頃、作業のやり方をチェックしていなかった	作業状況を把握していたが黙認していた
その他	作業前の安全ミーティングを実施していなかった

3. 再発防止対策 (災害防止を検討してください)

3. 1 作業自体の見直し

(一般に危険性の高い作業については、当該作業の廃止・変更、より安全な施工方法への変更等をまず検討してください)
(上記に該当しない場合の例) 以下のとおり設備改善、作業改善、安全管理の徹底を行う

3. 2 機械・設備の改善 (発生原因に記載した項目ごとに対策を検討してください。)

筋交いを取り外して作業を行う際には、単管で手すりを設けた後に作業を行う、又は、筋交いを取り外した際には、墜落制止用器具を使用して作業を行う

3. 3 作業方法の改善 (発生原因に記載した項目ごとに対策を検討してください。)

筋交いを取り外して作業を行う必要がある場合には、あらかじめ作業方法を定め、決められた手順で作業を行う
墜落制止用器具使用の徹底を図る

3. 4 安全衛生管理の改善 (発生原因に記載した項目ごとに対策を検討してください。)

筋交いを取り外して作業を行う際の作業方法を定め、定めた作業方法を周知するための教育を作業員に実施する
現場責任者が、不安全な状態、作業方法を黙認することなく、適切な安全指示ができるよう現場責任者に対して安全教育を実施する
作業開始前に安全ミーティングを開催し、その日の作業に対する安全事項の打ち合わせを行い、対策が確実に行われていることを現場責任者確認する

講じていただいた再発防止対策について、労働負荷やコスト等を総合的に考慮し調和がとれたものとなっているか確認願います。

4. 再発防止対策の持続性についての検討

再発防止対策の持続性(運用面コスト(費用、労力、時間)の負担許容範囲と作業員が自発的に取り組むことができる内容であるか検討し、その結果を記載してください。)
危険を伴う作業については、事前の作業手順の決定を行うこと、現場管理者教育、作業開始前のミーティングを確実にすることは、災害防止で重要なものであるため、費用、労力、時間も負担許容範囲であり、今後、継続的に実施をしたい

5. 労働災害防止対策の水平展開 (再発防止対策を講じる際に把握した事業場内の他の機械・設備や作業でのリスクに対して講じた労働災害防止対策について記載してください。)

労働災害防止対策の水平展開を行った機械・設備又は作業	労働災害防止対策の水平展開を行った機械・設備又は作業が有していたリスク	労働災害防止対策の水平展開の具体的内容
足場上での作業	安全な作業手順が定められていない、現場管理者への教育の未実施	安全な作業手順に基づく作業、現場管理者への教育

上記のとおり、労働災害再発防止対策を講じたので報告します。

令和2年7月〇〇日

〇〇 労働基準監督署長 殿

担当者職氏名	現場代理人	〇〇 〇〇	TEL	0000-00-0000
--------	-------	-------	-----	--------------

事業者職氏名 代表取締役 〇〇 〇〇